

# 条例制定・改正 こんなことが決まりました

## 条例制定

### こども医療費支給

賛成多数

小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒の医療費助成。  
保護者一部負担額は  
○入院の場合月14日を限度に1日500円  
○外来の場合月4日を限度に1日500円  
これを超える医療費について町が助成する。(所得制限なし。)

### 介護従事者処遇改善 臨時特例基金の積立

賛成多数

保険料上昇分の半額が交付され基金に積立、保険料軽減のための財源・啓発等に充てる。  
…1,000万円

### 町営バス運行開始

賛成多数

中国バス路線廃止などにより、町営バス9路線でスタート  
乗車料金⇒300円

### 源流の里条例による地域支援

賛成多数

20戸未満高齢化率60%以上、10戸未満高齢化率50%以上の49地域432戸が対象で、集落支援員10人が巡回支援

### 町立病院運営資金貸し付け

賛成多数

安定経営確保と医療体制整備充実のため1億円を1年間年2.2%の利率で社会医療法人社団陽正会に貸し付け。

### 町職員の派遣

賛成多数

県立病院の医師を町職員として社会医療法人社団陽正会へ派遣

## 条例改正

### 総合開発事業 特別会計の設置

賛成多数

井関地域総合開発整備事業が直営に。

### 特別職非常勤の 報酬増額と新設

賛成多数

○公民館長報酬(月額)  
128,000円⇒150,000円(勤務:4日⇒5日/週)  
○新設  
集落支援員…120,000円(月額)  
夢創造委員会委員…50,000円(年額)  
学校薬剤師…50,000円(年額)

### 人件費削減の継続

賛成多数

町長…12%  
副町長…10%  
教育長…10%それぞれ削減  
<平成22年3月31日まで>  
職員…1.8%~4.8%それぞれ削減  
<平成22年3月31日まで>

### 介護保険料率の増

賛成多数

月額311円~934円それぞれ負担増  
<平成21~23年度まで>

### 和牛の里総合整備事業

賛成多数

事業費の30%を利用者が負担

### 過疎地域 自立促進計画を変更

賛成多数

○神石牧地区整備事業 } 追加  
○CATV整備事業

### 町有各施設 指定管理者の指定

賛成多数

○29集会施設と1農村公園を各自治振興会に指定管理(新設)  
○産業課15施設、その他5施設を各団体に指定管理(更新)

### 県から病院関連の土地、 建物、構築物を贈与

賛成多数

評価額  
○土地7,600万円  
○建物7億1,500万円  
○構築物1,700万円 相当の贈与を受ける  
☆10年間の指定用途、譲渡負担付き

### 行政機構改正

賛成多数

○企画課→企画財政課  
○病院対策室→病院事業室

## 議員発議

### 神石高原町議会議員の 議員報酬削減

否決

賛成5反対8

提案者：瀬尾征爾  
賛成者：小林 貢  
○議員報酬を1年間5%削減

### 神石高原町地域医療を見守る 特別委員会を設置する

賛成多数

提案者：松本彰夫  
賛成者：木野山孝志  
○名称：神石高原町地域医療を見守る特別委員会  
委員長：松本彰夫  
副委員長：木野山孝志

## 問 新規就農者支援は

横尾正文議員



## 答 意欲のある方を歓迎

Q 新規就農者支援事業の実施は、大変良いことだ。しかし、支援規模や内容を充実させなければ、新規就農希望者が期待できない。また、若者定着につながらない。もっとソフト・ハード両面で支援が出来ないか。  
①ソフト面  
○新規就農者の農業体験支援と受け入れ体制支援など。  
②ハード面  
○支援金の充実と年数の延長、

○住宅・農地の安価での提供、  
○農業機械などの安価での貸出、貸与支援などの具体的策は。  
A 町長  
内部要因としては、後継者・定住対策、外部要因としては、雇用対策として考えた。  
町の単独事業なので、大々的とはいかないが、初めての試みなので期待している。  
農業体験のない人にも、集落法人などに就職

していただき、経験者には、既存の補助金事業を利用してもらい定住につなげたい。また、支援金の充実、年数の延長や宅地・農地の安価での提供も考える。  
Q 募集方法は。  
A 産業課長  
ホームページや広報などを活用する。すでに問い合わせが数件来ている。農業法人の関係者にも具体的な説明をする。



トラクターによる農作業

Q 町内在住者で、農業を本格的にやりたい農業農家も対象になるのか。

A 町長  
あまり厳格化せず、意欲のある方を歓迎したい。